

「第8回川内川水系流域治水協議会」議事概要

合同開催：第11回川内川大規模氾濫減災協議会

第10回えびの大規模氾濫等減災協議会

「川内川水系流域治水プロジェクト」の推進に向けて「第8回川内川水系流域治水協議会」を開催しました。川内川水系流域治水協議会では、流域治水プロジェクトの「行動計画」や「自分事化に向けた取組」等を作成しており、流域治水プロジェクトの取組状況の見える化を実施しております。上記を基に、各機関における流域治水プロジェクトの進捗やグリーンインフラ取組状況について共有し了承されました。

さらに、流域市町の市町長をはじめ関係機関で、各市町における流域治水推進に関する課題や取組、川内川を基軸とした流域のさらなる発展に向けた取り組みについて意見交換を行いました。

開催概要

○ 日時：令和7年2月17日（月）11:00～12:00

○ 場所：伊佐市文化会館1F小ホール（web併用会議）

○ 参加者：川内川河川事務所 鶴田ダム管理所 薩摩川内市 さつま町 伊佐市 湧水町

えびの市 鹿児島県 宮崎県 気象台 北薩森林管理署 鹿児島水源林整備事務所

議事内容

- ・川内川水系流域治水プロジェクト及び行動計画について、了承された。（※参照：協議会資料－2、3）
- ・令和6年及び令和7年度の自分事化に向けた取組計画について、了承された。（※参照：協議会資料－4、5）
- ・グリーンインフラの推進について、了承された。（※参照：協議会資料－6）
- ・各市町における川内川を基軸とした流域のさらなる発展に向けた取組について意見交換を行った。

主な意見等

【薩摩川内市】

- ・隈之城川流域を特定都市河川の指定されたところ。今後は流域水害対策協議会を立ち上げ、流域水害対策計画を策定行っていく上で関係者と密に連携を図っていきたい。
- ・今年度かわまちづくり整備箇所、入来麓地区が追加された。流域の更なる発展に向けて上流の市町と連携しながら進めていきたい。

【さつま町】

- ・引き続き関係機関一体となって、流域治水を推進していきたい。

【伊佐市】

- ・線状降水帯がいつ発生するか予測が難しいなかで、自分の命は自分で守るという考えが重要である。
- ・防災無線等を通して住民へ必要な情報をお知らせしていきたい。

【湧水町】

- ・治水と利活用の整合性が非常に大事である。薩摩川内市からえびの市まで、かわまち整備等を繋げるような取り組み等、引き続き連携しながら考えていきたい。

【えびの市】

- ・浚渫、排水路整備や浸水センサーの設置やなど浸水被害軽減に取り組んでいるところ。いざというときの迅速な避難行動が重要で自主防災組織の活動を今後も推進していきたい。

開催状況



薩摩川内市長



さつま町防災専門官



伊佐市長



湧水町長



えびの副市長



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所 流域治水課

〒895-0075 鹿児島県薩摩川内市東大小路町20番2号

TEL 0996-22-3271